

武蔵台だより

第345号

発行	こま武蔵台自治会
編集	☎982-3904
発行部数	2,500部(単価47円)

潤いのあるコミュニティ創りを目指す

住む人たち・皆様の積極的な参加意識が不可欠です



こま武蔵台自治会会長 土井 太郎

春のきざし軽やかな今日このごろ、27年度の自治会活動も残すところ1カ月余りとなりました。会員皆様のご理解とご協力により、活動計画に沿って大過なく今年度も無事に自治会活動を推進することができましたこと、心より感謝申し上げます。

27年度の活動報告並びに28年度の計画につきましては、追ってお配りさせていただきます第27回総会資料をご参照頂き、来る3月27日(日)の総会に是非大勢の方のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

さて昨年度は、火山活動の多発と異常気象による集中豪雨で、全国各地で大きな自然災害が発生いたしました。私たちの身の回りには幸いにして直接的な被害はありませんでしたが、災害は何時何処で起きるかは

予測ができません。いざという時に備え被害を最小限に食い止めるためには、住民同士の連帯と防災に対する普段からの心掛けこそ減災に結び付けられる第一歩と考えます。引き続き皆様と共に防災への取り組みに力を注いでまいりましょう。

近年私たちの生活水準は、物質的に大幅に向上しました。その反面都市化、情報化が進み生活意識やライフスタイルが変化し、かつての地縁による共同生活意識は失われつつあります。地域社会における住民の連帯感がとかく希薄になりがちなこと、私として大変危惧しているところでもあります。快適で便利な生活が出来るようになった我々は、今や物から心への転換や生活の見直しを図りつつ、少子高齢化の中、新しい地

域社会づくりに目を向けていかななくてはならないと感じています。

私たちの生活は、個人のみで充足されるものではなく、コミュニティにおける潤いのある人間関係や公共的施設・機能(上下水道、排水、道路、保健衛生、防犯、防災、ごみ処理など)が補完されて初めて満たされるといわれます。皆が安心して住みやすく誇りに思える街づくりを進めるには、「みんなで参加して」楽しい文化・レクリエーション活動・健康づくりや、地域での福祉活動などが大切な役割を担っております。これらの活動は決してひとまかせではなく、「自分たちの町は自分たちの手で」という自主的な考えで実践していくことが大切です。自治会は一部の人たちによって作られたものではなく、そこに住む人々の総意で作られ、活動し、また発展させていくものであります。何よりもそこに住む人たちの積極的な参加がなければ成り立たないと思います。そうした意味合いから、コミュニティづくりは街づくりの基礎であり、コミュニティにおける活動を実質的に推し進めていくのが住民自治組織である自治会の大きな役割であるということを肝に銘じ、役員一同一丸となって取り組んでまいる所存です。地域の発展を図るために、会員皆様の自治会への積極的なご参加をお願いし、何卒ご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

こま武蔵台自治会 定例総会開催のお知らせ

第37回定例総会を次の予定で開催いたします。

■日時：平成28年3月27日(日曜日)

13時より

■場所：武蔵台公民館 多目的ホール

総会での主な報告及び決議予定事項は、次の通りです。

- 平成27年度活動報告、及び、決算報告
- 平成28年度活動方針、及び、予算計画
- 平成28年度役員選出

定例総会は年1回開催されます。出来るだけ多くの自治会会員の皆様に参加して頂けるように願っております。

尚、ご都合が悪く、参加できない会員は、平成28年3月23日(水曜日)午後3時までに委任状を自治会館まで提出願います。

平成27年度（1月） 第10回定例役員会報告

平成28年1月16日（土）

午後7時～9時

自治会館2F会議室

◆Ⅰ 協議事項◆

(1) 第37回総会に向けて班長会議の進行状況と総会までのスケジュール確認

次年度の役員改選までのスケジュール（案）について

(2) 第37回総会議案書作成検討

a 平成28年度総体的な取り組みについて

b 各行事の予算案並びに新取組行事にかかわる予算について

10月の役員会協議事項の専門部としての取り組み検討について

(3) 自治会館勤務対応の一部変更について

期間：平成28年1月～3月

◆Ⅱ 会長・区長からの報告◆

(1) 会長

a 5丁目外周道路添い木犀樹の業者による剪定作業今月下旬より実施します。

b 1月20日（水）14時 包括センター、民生委員、福祉ネット合同会議

c 武蔵台食改善グループと打ち合わせ検討

d 2月10日（水）10時30分 西武車輛検修センターとの定例懇談

e 自治会館内外の整理整頓と草刈協力をお願い

(2) 区長

a 1月4日（月）新年挨拶廻り（市役所・社会協議会・公民館、商工会議所。飯能警察、他）

b 1月6日（水）高麗児童保育所 風教室応援 10時

c 1月7日（木）埼玉県土農林振興センター補助金監査 10時

d 1月9日（土）日高市消防団出初式 9時

e 1月10日（日）日高市成人式（アリーナ）10時

f 1月19日（火）日高市社会福祉協議会3役会 13時30分

g 1月22日（金）日高市区長会 13時30分

h 1月26日（火）日高市凧揚げ大会 実行委員会14時30分

i 1月29日（金）高麗郡建郡1300年「高句麗衣装作り」（公民館）13時30分

j 1月31日（日）日高市社会福祉協議会採用試験立ち合い

以上

平成27年度（2月） 第11回定例役員会報告

平成28年2月20日（土）

午後7時～9時

自治会館2F会議室

◆Ⅰ 協議事項◆

(1) 第37回総会に向けて議案書作成検討

a 27年度活動報告について

b 28年度事業計画（案）について

(2) 自治会館増改築について

a 増改築の理由

b 費用について

(3) ダストボックスに関する取り組みについて

a 27年度躯体内修繕進捗の見通しについて

b 維持管理に関する市役所との覚書締結

c 庫内掃除用の水運び解消対策について

以上

◆Ⅱ 会長・区長からの報告◆

(1) 会長

a 地内に於いて、資源回収、高圧洗浄等の戸別回転チラシ配布横行している（回覧）

b 6丁目砂の入り公園周囲低木垣根強制剪定によるクレーム（回覧済み）

c 中の田公園運動場の整備につい

て、行政連絡の不備によるクレーム（回覧済み）

d 住民からの相談

① 4・7丁目榎田緑地枯れ木伐採要請あり 2月13日改修済み

② 2丁目12-3空き家の庭整備要請 持ち主へ連絡中

e 2月7日（日）28年度3役選出会議開催

f 2月10日（水）西武鉄道武蔵丘検修センター打ち合わせ

g 2月12日（金）1丁目班長より携帯ガスボンベ不法投棄（指定日以外排出）ありルールの徹底依頼あり

(2) 区長

a 1月29日（金）高麗郡建郡1300年「高句麗衣装作り」開催

b 2月6日（土）高麗郡建郡1300年「日高市手作り凧揚げ大会」開催

c 2月15日（月）年金振込み詐欺防犯キャンペーン参加（ベースアモール）

以上

おくやみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

山本 恵三（90歳）七三―十六 逝去日 二月十一日

松尾 悟司（84歳）一―十八―一 逝去日 一月二十日

中村 正義（103歳）三―十一―一 逝去日 二月二十七日

宮下 好美（75歳）一―四十五―一六 逝去日 二月十日

峰村 長治郎（74歳）一―二十一―七 逝去日 二月十七日

自治会専門部の部長さんに聞く

平成27年度自治会活動の専門部部長さんに、この1年の活動を通して考える『今』と『将来』について伺いました。

質問その1：1年間の活動を通して、今、どのようなことを感じたり、考えたりしていますか？

質問その2：次年度に向けての活動課題や進むべき方向についてどのように考えますか？



安全対策部 部長 世良田俊郎

A-1 今年度の活動を振り返って、強く印象に残ったのは、防災・防犯意識を高める必要性を感じたことです。

防災面では、天災の多発・強化が進み、「明日は我が身」と実感します。

防犯面では、振り込め詐欺、空き巣犯罪が“今”近所で発生している状況です。

A-2 来年度の活動については、防災のために実効性のある自主防災組織を作り上げ、非常時の通報体制の確立と避難訓練の実施が、また、防犯には具体的な対策機器の活用が喫緊の課題と考えます。



文化厚生部 部長 鳥井章男

A-1 毎月第二水曜日に『武蔵台サロン』を開いていますが、毎回の参加者が非常に少ないと感じております（毎回15名前後）。サロンは無料です。気軽に参加して頂くための活動が十分なされたいか検証したいと考えています。

A-2 「住民の親睦と交流の場としての自治会館」のイメージを、広げていく必要があると感じています。その為には『武蔵台サロン』に行ってみたいと思われるような親しみのあるテーマづくりと場所づくりをしていくことが必要と思います。来年度もまた、自治会館内に月替わりで花や風景の写真を展示していきたいと考えます。



体育部 部長 宮岡孝二

A-1 運動を通じて自治会会員同士の交流を活性化し、会員の絆を深め、健康増進と体力の維持向上づくりを進めないといけないと感じました。

A-2 地区体協と連携し、住民相互の連帯意識の醸成を図ることを目的に取り組んで行かないとならないと思います。



広報部 部長 柳沢弘二

A-1 私たちの生活の周りでいま起きていることを伝え、これからどうしていくべきかを考えるきっかけを与えられる広報誌を目指しました。私たちの街を知り、愛着と誇りを持ってもらいたいと願いながら編集をしました。双方向に情報の伝達ができる仕組みを創りました。

A-2 広報誌の改革は道半ばです。広報誌が意図する目標に理解を得て、会員皆が参画し行動する成果が得られるように、根気よく継続した活動が必要と考えます。



会計部 部長 石井透

A-1 会計処理、現預金の管理等、会計業務は順調に推移しています。2月末決算の結果は、監査役会計監査を経て総会において報告致します。

A-2 課題は、会計担当者要員の確保です。現状の会計担当者は2名です。

- ・会計担当者の任期は、大切な資金をお預かりすることから最大3年が限度と考えます。
- ・会計担当者になるためには、自治会役員への立候補、若しくは班長さんの中から本部役員候補となり会計を希望して頂くこととなります。
- ・会計業務は、認可地縁団体用の会計ソフトを利用しており、簡単な簿記の知識があれば充分です。同時に、大切な資金を適切に管理するために必要な几帳面さや責任感が求められます。
- ・2000に近い会員の皆さんの中には、多くの適任者がいらっしゃると思います。是非とも手を挙げていただきたく!!

安全対策部からのお知らせ

空き巣対策に有効な『窓の補助錠』の紹介

武蔵団地内の昨年の空き巣被害は6件ありました。全てに共通している手口は、ガラス窓からの侵入でした。窓ガラスの鍵付近を割り、割ったガラスの穴から内錠を開錠し、戸を開けて侵入しています。

今回紹介する補助錠はガラス窓のサッシにはめ込むタイプで、誰でも簡単に取付・取外しが出来ます。実際に、昨年、当団地内で「窓ガラスが割られて鍵が開錠している！」との通報を受け、警察が現場の確認をしました。空き巣の手口である痕跡がありましたが、この補助錠をしていたため、戸が開かず、侵入されずに済みました。

この補助錠で絶対に空き巣に入られないとは言えませんが、泥棒に対する抑止効果がありますので紹介いたします。

【商品】窓の補助錠（販売元：株式会社カインズ 税込価格：158円）



『新春の集い』つきたてお餅に行列が続く

1月9日(土)、武蔵台ショッピングセンター・みんなの広場にて『武蔵台地区・安全祈願新春の集い』が開催されました。

武蔵台自治会の主催で行われましたが、飯能警察署、高麗駐在所連絡協議会、ショッピングセンター、福祉ネット、日高都市ガス、囃子連、そして多くのボランティアの方々の協力を得て、多くの参加者で賑やかに楽しい集いとなりました。

昔ながらの力強い餅つき風景を、幼稚園の園児やスポーツクラブの少年達の見守る眼差しは真剣で、かつての我が家の餅つきを思い出す懐かしい場面でした。

つきたてのからみ餅、きなこ餅、あんこ餅などに舌鼓をうちながら、楽しく集まっている若いママさんと子供たち、おいしいやんと付き添いの若いお孫さん、小学生の友達仲間などなど、新春の美味しさを味わえた楽しい集いとなりました。

再三の餅つきに加えて、大鍋による豚汁、たこ焼きも振る舞われ、参加された多くの方には、お腹も満足されたことと思われまふ。からみ餅の大根を調理されておられたボランティアの奥様は、「この様な行事で集まるのが一番の楽しみ」と、心温まる方々が新春の集いを限りなく支えておられる事に感銘いたしました。



(取材：広報担当 池辺)

わが街・わが地域・わが暮らしの豆知識

地域の人たちの集いの場・地域の人たちに寄りそうお店を目指しています！

ショッピングセンター・朝採れファーム 山岸店長さんに聞く

前号では、ショッピングセンター商店会長の林氏に、「地域住民の憩いの場」を目指しているお話を伺いました。今回は、センターの中核店舗である『朝採れファーム』の店長、山岸氏に直接地域の住民と向き合っている立場の目線でのお話を伺いました。

(山岸氏) 朝採れファーム・高麗郷は、出店してこの4月で3年になります。開店当初は「野菜の直売」をメインにしました。その後、地域に寄りそうお店を目指そうという思いで、お越しくださる皆様のご意見・要望を伺いながら、日々の生活に欠かせない食品を店頭へ並べ、品数を年々増しています。好評な惣菜もこのひとつです。

(取材者) 産直野菜は、新鮮さはもとより生産者の顔が見えるという安心さが好評のようですが、生鮮食材の魚はどのようなPRポイントがあるのですか？

(山岸氏) 専属の魚屋さんがいて、新鮮な魚を解体しお店に並べています。月1恒例となった本マグロの解体ショーでは、本マグロの美味しさをお届けしています。これからもより充実したショーにしていきます。店頭ではご試食もごしますので、是非店舗に立ち寄り楽しんで頂きたいと思っております。

朝市+フリーマーケットが4月からスタート！

(取材者) 今年は、ショッピングセンター商店会として地域コミュニティの場を作る新たな企画を検討していると聞きましたが？

(山岸氏) ふれあいマルシェ (こま武蔵台ショッピ

ングセンター 朝市&フリーマーケット)を企画中です。朝採れファームが事務局となり、自治会や福祉ネットおよびショッピングセンター管理会社 IMON さんの協力を得て、4月第1・3日曜日から毎月開催する予定です。

この朝市が、地域の人たちと出店者を繋ぐ場になり、みなさんの笑顔とおしゃべりが行き交う楽しい『コミュニティの場』になることを目指します。

取材を終わって：何人かの方々に、朝採れファームについて話を伺いました。『最近の品ぞろえは、日々の食卓を満たせるまでに充実してきた』、『お正月の刺身の盛り合わせを頼んだら、新鮮で美味しく大満足』、『手巻き寿司の材料を、とお願いしたら、いろいろな具材を手巻き用にカットしてくれて、食卓が華やいだ』などの声や、『釣った魚を持ち込んでさばいてもらったよ！』などなど。地域の皆さんに寄りそうお店の姿勢が少しずつ浸透してきているとの印象を持ちました。

商店会長の林さんが熱く語られていた、ショッピングセンターの活性化が色々な形で一步一步進みだしたように感じます。そして、この動きが本物になるかどうかは、私たち一人一人が足を運び、諸企画に参加し、共に行動することにかかっています。

(取材：広報担当 柳沢)



わが街・わが地域・わが暮らしの豆知識

*** 高麗污水处理施設を取材 ***

365日、私たちの生活を支えています！

武蔵台団地の住宅や店舗から出る生活系排水を処理するのは、団地内の一角にある高麗污水处理施設です。昭和52年の運転開始から一貫して今日まで運転・維持管理をして頂いている共和メンテナンス株式会社のリサイクル事業部・木村智佳子さんに施設の特徴や日頃の思いをお伺いしました。

広報担当：この施設の概要、特徴は？

木村氏：施設開設以来39年目を迎える今日まで、途中、施設が日高市に移管されても、施設の維持管理は一貫して共和メンテナンス(株)が委託を受けてきました。現在、2,700所帯、約8,000人から発生する1日当たり約2,400m³の生活排水を河川放流できる水質まで浄化しています。

施設の特徴は、生物処理機能を効果的に活用して、臭気の低減および汚泥の削減を図る「YMリアクターシステム」や、脱水汚泥を堆肥化・農業資源への転換を図る「YMひまわりくん」を導入しており、更には場内には畑を設けて、資源循環型社会を体現できるパイロットプラントとしての役割も担っています。

広報担当：将来に向けてのビジョンなどお聞かせ願いませんか？

木村氏：これからも、地球環境の保全に貢献する企業として、新技術の開発・改良に努めていきます。又、住民の皆様とのコミュニケーションを大切に、併設の畑を利用し小学生や幼稚園生と野菜の収穫体験をするイベントなども考えたいと思っています。

私たちは、あたりまえのように水を使い、生活排水を流し、便利な生活を享受しています。でもそれは、木村さんたちの支えの上に成り立っていることを決して忘れてはならないと痛感しました。感謝です。ありがとうございます。(取材：広報担当 柳沢)



曝気槽



YMひまわりくん



YMリアクター

縄文人も中世武士も住み着きたくなる場所？

高麗路を散策し縄文からの歴史に想いを馳せる

二丁目 田上 はるか



昨年の市民講座で、縄文時代住居跡遺跡が、台だけでなく日向から高岡にかけてもあったと知り、12月に「こま路散策」で辿ってみました。日和田山のふもと日向や上原の住居跡地は

沢と沢の間のこんもりした台地で、日当たり眺望良し、なるほど！と感じたのでした。

ところで、縄文時代住居跡は全国いたる所で見つかった、今やありふれたもの。高麗駅のすぐ近くのささやかな「高麗村石器時代住居跡」がなぜ国指定なの？という疑問が出ます。それは発見された時期が昭和4年。全国で7番目。埼玉で初めての発掘で、地主の加藤喜代次郎さんが自ら先進的な仕方発掘、保存。考古学史に残る調査だったからということです。

加藤喜代次郎さんは、その後も続けた高麗地区縄文時代住居跡調査を「高麗郷土史」(昭和30年)に纏めています。その中で、高麗村を「遠く秩父の山つづき、日和田と多峯主の山ふところに抱かれ、高麗川の流れにのぞむ、食に恵まれ、交通の開けた平和な住みよいこの村」と謳っています。また、秩父氏の高麗武家、丹党の高麗経家によるこの地の荘園開拓、土塁と中世の岡上氏のことなどが書かれています。

鎌倉時代に帰農したといわれる加藤家3兄弟や、高い文化の

大澤舎新井家、沢山の多重塔など知るにつけ、ここは平地とはまた違った、要害の地を活かした土地柄では？などと推量したくなります。門外漢で想像するばかりですが、1300年前だけでなく中世から現代までの高麗村の歴史をもっと知ることができたらと思います。

福祉ネットからのお知らせ

食事会

3月20日(日)
12:00～
むさし公民館にて

前立 ちろし寿司他
出し物 ハーモニカ演奏

参加費300円
70才以上の方 30名 先着順です
締め切り 3月10日まで
申し込み：ふれあいサロン(982-1116)
(送迎が必要な方は申込時に)
主催 こま武蔵台福祉ネット

ツイート広場・つぶやき交差点

◆高麗川の自然回復を願うばかりです！

今年1月、NHKが放映した『さわやか自然百景』を見て、高麗川の自然の美しさを再認識した人も多くいることでしょう。
(NHK番組 HPより)



その高麗川で最も美しいと言われている流域、お蔵淵に建設重機が入り、河川敷や淵が容赦なく掘り返されたり埋められたりしています。本誌11月号のこのコーナーに投稿がありました『高麗川まるごと再生プロジェクト遊歩道工事』が始まったのです。この淵は魚が多く生息し、カワセミや高麗川に住む野鳥の聖域(サンクチュアリ)と称されている場所だそうです。『さわやか自然百景』の撮影舞台となった所です。そこに幅2mのコンクリート遊歩道を作る計画です。一度壊された自然のバランスや生態系の営みが元通りに戻るのか、とても心配です。

地域の活性化は重要な課題です。一人でも多くの人がこの地を訪れ、高麗川の自然を楽しんでもらうために流域を整備しようという考えはわかります。観光収入も増え、経済効果も期待できると考えるのも自然です。しかし、整備が進んでいくうちに、高麗川は東京近郊の他の河川と変わらない環境になっていかないでしょうか。日高のシンボルであるカワセミが減り、豊かな自然が多く失われていくことがないように願っています。

NHKのこの番組のHPは、「高麗川は人々の暮らしの近くにありながら、今でも素晴らしい自然環境が残され、野鳥の中の「宝石」と呼ぶにふさわしいカワセミの魅力を描いてみたいと思った。淵の淀みにたまる枯葉、そこに生息する虫、それを食に集まる魚、その魚を狩りするカワセミ…高麗川の豊かな自然が守られているからこそ、これらの生態系が成り立ち、しいては私たちの暮らしも成り立つ。高麗川がいつまでも清流の名にふさわしくあることを願ってやまない。」という言葉で結ばれていました。(7丁目 Y)

今年1月16日のお蔵淵

工事開始後2月14日の同じ場所



◆梅に驚ならぬアルミ缶

今冬は暖冬と言ってきたが、あにはからんや南の島に雪が降った。でも寒さが厳しければ春の到来が楽しみだ、庭の紅梅が二芽三芽咲き出した事で春がそこまで来たことが見て取れる。



この庭の梅の幹に耐ハイのアルミ缶を挟んで行った御仁がいる、鶯と違いとても似合わない無粋やね！

近頃、空き缶ポイ捨て、犬の糞不始末の注意喚起看板も散見される、人の迷惑には心したいものだ。梅花を眺めていると木の向こうの道を犬の散歩者が通る、散歩の出で立、犬の行動も様々。中には庭の縁石で用を足していく、飼わない人には気持ち良いものではない。ペットボトル持参の方もいる、呑む為かと思いきや犬が鉄柱にしたやつを洗い流しているスマートやね！

地内を歩くと家々の庭を見るのも楽しみだ、庭木は四季を通じて各々の表情をして周囲を楽しませてくれる。中には残念な木も有る、植えっ放しで手が入らず道路や隣地にはみ出し日陰や落ち葉で周囲に迷惑がられている。この木は何のために植えられたのか？庭木の芸を見せる事無く先は伐採の憂き目か、人の身勝手の仕業なりや。

(五丁目 K)

リレー随想

武蔵台の自然と緑を楽しむ

3年前、ご縁があり、ここ武蔵台に引越しをして参りました。まだ居住も浅い折、今年班長という役をやらせて頂きました。

この地に来て一番感じたことは、①景色が美しい、②空気が美味しい、そして、③ご近所の方々が温厚であったこと、でした。

我が家には愛犬がおります。以前のお散歩と言えば、ただただコンクリートの上…。今は緑が沢山あり、毎日のお散歩を楽しみにしています。年間を通して、春には木々の芽吹きや新緑が、夏には穏やかな木漏れ日、そして秋には紅葉と、自然を楽しんでいます。(3丁目 女性 T氏)



清流と緑の自然・子育てに最適な環境の武蔵台を知ってほしい！

東日本大震災から5年。地震・津波による影響で死者は1万8千人に及び、今まだ多くの未解決な課題を残しながらも復興事業が進められている。豪雨による土砂災害もここ1、2年多く発生している。

東京から引越してきて6年。清流と緑豊かな自然に恵まれている中で、自然災害は少なく安心して生活できる地域と感じている。学校教育環境や医療施設も充実しており、子育て世代にも安心できる環境の街、武蔵台。少子高齢化を迎えている時代の中で、この環境を知って、一人でも多くの家族や若者が引越してきてほしいと思う今日この頃である。(5丁目 女性 S氏)



編集後記

早いもので、当号が今年度最後の広報誌になりました。多くの皆さんに読んで頂くにはどうすればよいか。読む時間を割いて頂いた皆さんに、何か少しでも得るものを感じて頂くにはどうすればよいか。常に思い悩む1年でした。『今を知り・明日を考え・そして行動をする』ことに資する広報誌作りは道半ばです。

(広報担当 柳沢)